

日時
授業場

生徒 4年生
授業者

1. 単元名

「 ほって すって 見つけて 」

2. 単元の見目標

- (1) 彫刻刀を使って彫り方を試したり、刷り上がりを試したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。また、彫刻刀を適切に扱うとともに、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(知識及び技能)
- (2) 板を彫ったり、刷ったりして感じたこと、友だちの表現から感じたよさや面白さなどから「表したいこと」を見付け、形や色、材料などを生かしながら、「どのように表すか」について考える。また、形の感じ、形の組合せによる感じから自分のイメージをもったり、色々な表し方から自分の見方や感じ方を広げる。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) 進んで彫刻刀を使って彫り方を確かめたり、刷って確かめたりしながら版に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする(学びに向かう力、人間性等)

3. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ア 彫刻刀を適切に扱うとともに、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。(技能)	ア 形の感じ、形の組合せによる感じから自分のイメージをもったり、色々な表し方から自分の見方や感じ方を広げている(鑑賞)	ア つくりだす喜びを味わい進んで彫刻刀を使って彫り方を確かめたり、刷って確かめたりしながら版に表す学習活動に取り組もうとしている。
イ 彫刻刀を使って彫り方を試したり、刷り上がりを試したりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている(知識)	イ 板を彫ったり、刷ったりして感じたこと、友だちの表現から感じたよさや面白さなどから「表したいこと」を見付け、形や色、材料などを生かしながら、「どのように表すか」について考えている。(発想・構想)	

4. 単元のデザイン (全6時間)

次	○学習活動・学習内容	手立て	評価の観点		
			知	思	態
1	<p>○ 彫刻刀の使い方を知り、彫刻刀のできる線のよさや面白さ、美しさを感じよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書等の版画の作品を見て、どのように表したか想像し、気付いたことを話し合う ・彫刻刀の使い方を知る ・彫刻刀の安全な使い方に気を付けながら自由に「試し彫り」をする。 ・彫ってできる線の特徴を見付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・版画の作品を鑑賞し、良さや面白さなど感じたこと、気付いたことを出しあう。 ・版画の仕組みを知り、今後の制作の見通しをもてるようにする ・彫刻刀の安全な使い方や彫り方を演示しながら確認をする ・試す時間を十分に設け、試し用の板で基本的な彫り方や「丸刀」「三角刀」「平刀」の彫り跡の違いなどを確認しながら、彫る感じを味わえるようにする。(気持ちよく彫れるように「練習」「試しに」を彫ることを呼びかける) 	ア		ア
2・3	<p>○ 刷ったり、彫り足しながら、様々な線や形を生み出してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の演示を見ながら、試しに彫った線を利用してできる形や形の組合せなどに気付く ・試し刷り、彫りを繰り返す(試し用の板) ・(清掃後)試し刷りの写真を各自で撮影する ・線や形を生かして表したいことを思い付いたり考えたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・刷る際は、移動せずに簡単に自分の机で刷りが試せるように環境を工夫する ・演示をし、線を足すと出来る形や模様気付かせる ・清掃後に自分の学習用端末で写真を撮影する(版木と刷った紙を並べて撮影) 	イ	ア	

<p>4 (本時)</p>	<p>○彫った線から感じたことを交流して、表したいことや表したいことに合った表し方を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線のよさや面白さ、彫った感じ、刷った感じからどんな作品が出来そうか考える ・彫った線から表したいことを想像する ・考えたことを交流する ・表したいことをアイディアスケッチに描く ・友達の「気になる表し方」があれば交流する ・どのような表し方が自分の表したいことに合っているか考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロ上で友達の作品(試しの板を刷ったもの)を鑑賞し、感じたことや思ったことを交流しながら、自分の見方や考え方を広げる。 ・アイディアスケッチは絵でも、文字で表したり、もらった写真をロイロ上で並び変えたりして考えてもよいことを伝える ・どのような表現が「表したいこと」に合っそうか具体的に考えるため、試しに刷った表現の写真を活用するように促す。 ・友達の気になる表し方があれば「彫り方のコツ」などを聞き出すよう促す 		<p>イ</p>	
<p>5 ・ 6 ・ 7 ・ 8</p>	<p>○表したいことを確かめながら、さらに思いに合うように彫ったり刷ったりしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刷った形を確かめて、思いに合うように彫り足していく ・彫りと刷りを繰り返していく ・活動の終わりに作品の記録をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・刷ってできた線や形の感じを確かめながら、思いに合ったように彫り足して表すことを提案する ・気軽に刷れる環境を工夫する ・彫り足すときは、版木のインクを布でふきとり水で洗う ・作品の変化を振り返るため、活動の終わりには(清掃後手が綺麗な状態で)学習用端末で作品を撮影する。 	<p>ア</p>		

6. 本時の展開 (4 / 8)

(1) 本時の目標

自分や友達の彫った線や形の感じ、形の組合せ等からイメージを広げ、表したいことを思い付いたり、表したいことをどのような表し方で表したりするかを考えることができる。

(2) 本時の展開

<p>学習活動 児童・生徒の姿 教師の働きかけ (○発問, △補助発問, □指示・説明)</p>	<p>【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点</p>
<p>1. 前時を簡単に振り返り 手立てⅡ ○前回練習で彫って生まれた線や形を使ってどんな本番の作品がくれそうですか？ (自分の彫った作品を見ながら口頭で交流)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「○○の形に見えてきた」「この彫り方好きだから使いたい」 「この線がきもちいいからつかいたいな」「思い付かないな」 「○刀が好きだな」「○○を彫りたい」</p> </div>	
<p>めあて『「あらわしたい！」を見つけよう！』(板書)</p>	
<p>1. 練習で彫った線や形から想像を広げる、または表したいことを思い付いたり、考えたりする □まだ見つからない人も、部分的にここの彫り方迷っているよっていう人も、みんなの生み出した線や形からどんな作品が出来そうか考えてみたいと思います。(ロイロで提出・全体共有する * 提出箱1)</p> <p>□他の人の生み出した線や形を見てみましょう(ロイロで共有)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「○○さんの形○○に見えてきたよ！」「○○さんの彫り方マネしたい！」 「どうやって彫ったのかな？」「この形好きだな」</p> </div> <p>感じたこと「いいな」「すごいな」「まねしてみたいな」「どうやって彫ったのかな」など聞きたいことがあったら聞きにいきましょう(密に気を付けて) ①感じたこと・聞いたこと・考えたことをロイロノートのふせんに書いてみましょう</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「○○さんの彫り方マネしたい！どうやって彫ったの？」「この線で○○できそうじゃない？」「この形面白いね」「私はこう見えるよ！」</p> </div>	<p>【思・判・表】 ◇ 板を彫って感じたこと、友だちの表現から感じたよさや面白さなどから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。(発想・構想)</p>
<p>○ どのようなことを交流しましたか(場合によっては指名)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「○○さんの線が激しく強く降ってる雨みたいに見えるって話してたよ」 「○○な風景に使えそうだなあって話をしたよ」 「○○さんの線の組合せが素敵だと思いました」 「模様がついた○○ができそう」</p> </div> <p>△「線の重なり(グレー)」や「勢い」「形の組合せ」の視点が出なければ資料を提示 ○表したいことやしてみたいことが決まりましたか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「(生き物)の版画にしてみたい」「○○な風景にしてみたい」 「模様を使って○○を彫りたい」</p> </div>	<p>【主】 つくりだす喜びを味わい、進んで活動に取り組もうとしている</p> <p>・課題の見つからない児童へは、個別の声掛けや他者との関わりを促す</p>
<p>□アイデアスケッチを描いてみましょう(紙の配付 * 選択制)</p> <p>「表したいこと」に合わせて表し方を選んでみましょう △友達の表し方を参考にさせてもらってもよいです(友達にコツを聞ききにいきましょう * 聞いた内容はアイデアスケッチに書き込む)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「○○の版画にしたいからここは○○の彫り方にしよう」 「○○さんの彫り方マネしてみたいな」「ここに合った彫り方はないかな」 「○○さんに聞いてみたいな」</p> </div>	<p>・アイディアスケッチは絵でも文字でも、端末などで画像を並び変えるなど自分に適したやりやすい方法で良い</p> <p>・アイディアスケッチが出来た児童から本番にとりかかる</p>
<p>□アイデアスケッチを記録しましょう(②端末で撮影・記録・提出) △アイデアスケッチが出来たら、下描きをしたり、彫り始めても良いですよ</p>	

■ 図画工作・美術科におけるリーダーシップ・フォロワーシップの育成について

図画工作・美術科における Ls/Fs 育成のポイントは「問題解決力」

＜図画工作・美術科で目指す子供の姿＞

本教科は、義務教育の9年間で「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成すること」¹を目標としている。近年 STEM 教育に芸術 (Arts) が加えられ STEAM 教育として昇華された所以には、芸術教育における拡散的な発想力や想像力が、問題解決の新しい方向性を導き、豊かな創造性を生み出すことにつながると考えられているところにある。現在よりも遥かに複雑で多くの問題解決が求められることが予想されるこれからの社会の中で、子ども達が創造的にそして人間らしく心豊かに生きていくために、図画工作・美術科の果たすべき役割はより広がると考えられる。

学習指導要領解説において「表現の学習は、表したいことを基に「知識及び技能」と、「思考力、判断力、表現力等」を相互に働かせながら、問題解決をする学習そのものである。」¹としている。末永は予想困難社会の中で子供たちが心豊かに生きていくためには『「自分のものの見方」で世界をとらえ、「自分なりの探究」をし続けること』²が重要であると述べている。これらのことから、図画工作・美術科における問題解決力とは、全員と同じ答えを求めるもの(求同)ではなく、それぞれが対象や事象から課題を見つけ、主題を生成し、多様な見方・考え方や多くの解決策に触れながら、主題追求のために「自分なりの」視点をもって課題を解決しようとする力であると考えられる。よって、問題解決の課題も解決の過程も方法も導き出す答えも、子供それぞれにあるべきと考える。また新井は、私たちは社会の枠組みで生きており、自分が持つ枠組みを超える問題に突き当たったときに、いかに枠組みを広げるか、組み替えるか等(いわゆるパラダイムシフト)が繰り返されているとし、「拡散的思考と収束的思考の双方を行き来することで、枠組みに対して柔軟に対処することにつながり、問題解決の糸口が見えてくる」と述べている。³

子供たちが作品を自己の「表したい思い」に近づけたりしていくためには、「思い」をもとに様々な乗り越えるべき課題を見いだしたり、そこからさらによりよいものにするために課題を生み出していく必要がある。しかし、子供の中には「向き合う課題が見つからない(=「どうしたら良くなるかわからない」)、「解決すること自体をあきらめる(=「自分にはできないだろう」「これでまあいいや」)」「自己の表現に閉じてしまう(=「他の人の意見や考え方は必要ないかな」)等の様子が見られることがある。図画工作科及び美術科の学習を通して問題解決力を高めるためには、自分の表したい思いのもと「自己の解決すべき課題」をより明らかにすること、そして子供の視野を広げながら、課題を解決していくため思考場面(「課題を振り返る」「新たな課題を見いだす」「方法や選択が妥当か検討する」等)を意図的に設定する授業構造の工夫が必要であると考えている。

またこれらは、自他共に高め合い影響力を発揮しようとする「学び合い」に深くつながるものであると考える。集団のよりよい「学び合い」のなかで、自分なりの考えや解決方法、答え、表現を、他者と対話をもとに深め合ったり、協同的に学ぶことで『互いに高め合えること』『高め合っていること』を自覚させることを大切にしたい。またそれらの学びを通して、『創造の価値を見いだすことのできる児童生徒の姿』を目指したい。

図画工作・美術科における「目指す子供の姿」を実現するための手立て

①問題解決力を高めるための授業構造等の工夫Ⅰ

②一単位時間の中で、主題(表したい思い)を振り返る場の設定Ⅱ

①問題解決力を高めるための授業構造等の工夫Ⅰ

(発想や構想、技能のねらいが明確に位置づけられていることを前提とし) 授業構造に意図的に拡散的思考(個人ないし集団において広がった多様な見方・考え方や多くの解決策)と収束的思考(自分なりの考えや答え、納得して選択した解決策)が相互に関連し合い効果的に働く場面を設定する。また、これらは一単位時間、題材全体の中で繰り返すことで問題解決の力が高まるものとする。

②一単位時間の中で、主題(表したい思い)を振り返る場の設定Ⅱ

一単位時間の中で、適宜、主題(表したい思い)を振り返る場を設けることによって、「今やるべき」課題に気付いたり、「やりたいこと」を見付けたり自覚できるようにしたい。振り返りは、全体交流の中で行う方法、資料を用いる方法や、交流(全体交流、ペア交流、集団交流)を通して行う方法など様々な方法が考えられる。活動内容や児童の思考、時間配分等を加味しながら適宜設定する必要がある。

＜参考・引用文献など＞

- ・宮坂元裕『「図画工作」という考え方』、黎明書房、2016
- ・阿部宏行「子供の造形表現の発達と指導のあり方-幼児や小学生の表現方法の獲得-」、美術科教育学会誌第39号、2018
- ・デビット・A・スーザ「AI時代を生きる子どものためのSTEAM教育」、幻冬舎、2017
- ・Elliot Eisner『The Art and the Creation of Mind』Yale University Press、2002

1 『学習指導要領解説美術編』、2017

2 末永幸歩『13歳からのアート思考』ダイヤモンド社、2020

3 新井 浩『目指すべき資質・能力からみた図画工作科の学び～学習指導要領改訂の背景と今後の課題～』、人間発達文化学類論集 第27

■本時で目指す児童・生徒の姿

今日の授業における「問題解決力」を高めるためのポイント

前時では、版画の鑑賞や彫って感じたこと、刷ってみたものから考えたこと、想像したことから「表したいこと」を考える活動をしている。本時では「表したいこと」を見付け「どのように表すか」を考える。

この時点で「表したいこと」を明確にイメージできている児童は多くはなく、「こんな感じかな」とイメージが漠然としていたり、中には「表したいこと」がまだ考えられていないと感じたりしている児童がいると考える。また、すでに「こうしたい！」と明確なイメージが浮かんでいる児童も、自分の表現にとどまらず造形的な視野を広げて考えられるようにしたい。

本時では、友だちとの交流から自分の見方や感じ方を広げ、彫ったり刷ったりして感じたことや考えたこと、見付けた「表したいこと」を基に、「どのように表すか」(表し方)を考え「やるべきこと」「やりたいこと」(課題)などを明らかにしながら、主体的に表現に向かう児童の姿を目指す。

* 「自己の課題の明確化」「拡散的思考と収束的思考の場面を意図的な設定」については、(本時だけでなく) 題材全体で繰り返すことで児童・生徒の問題解決力を高めていきたい。

■本時のポイント

今日の授業における「目指す子供の姿」を実現するための手立て

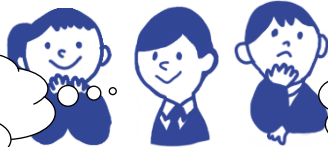
- ①前時に感じたこと、考えたことを想起させる
- ②全体交流(ロイロでの共有)から考えたり想像したりしながら、自分の見方や考え方を広げ、「表したいこと」を見付ける。
- ③彫ったり刷ったりして感じたことや考えたこと、「表したいこと」をもとに「どう表すか」(表し方)を考え、「これからやるべきこと」「やりたいこと」を明らかにする。またその課題等をもちながら主体的に表現や課題解決に向えるようにする。

①前時に感じたこと、考えたことを想起させる

前時で感じたことを想起(ワークシート)

彫刻刀で線をすーっと彫るのが気持ちよかった!

線を組み合わせたら面白い形ができたんだよね



刷った形から本番は〇〇を彫ろうと思うんだ

前の時間どんなことを感じたり思ったりしましたか?



②全体交流(ロイロでの共有)から考えたり想像したりしながら、自分の見方や考え方を広げ、「表したいこと」を見付ける。

(個別交流)

この彫り方すごい! どうやって彫ったのかな?

〇〇みたいに見えるな!

ロイロ上でみんなが試しに刷った表現を見てください! 聞きたいことがある人は聞きに行きましょう

コツを聞いてみたい!

この線とか形とか面白いな!

この形好きだな!

こんな風にできそうだよ!

私は〇〇に見えたよ!

「ふせん」に感じたこと考えたことを書いてください



どうやったの?

これはね・・・

机間巡視の中で個別の声掛け
*必要に応じて
△「何に見える?」
△「何かに使えそう?」
△「どうやって彫ったの?」
△「コツはあるの?」



(全体交流)

へえ! 〇〇に見えるんだ!

こんな話をしたよ!

こうやったんだよ!

(ふせんを見ながら) 感じたことや考えたことを交流しましょう! 話し合ったこともあったら教えてください

確かに!

それ使ってみよう!!

それ使ってみよう!!

それ使ってみよう!!



「表したいこと」を明確にして表現へ向かう

やりたいことみつけたよ! この表し方を使ってみよう!

良いアイデアもらったぞ! この方法がよさそう!

試してみるね!

やっぱりこれが良さそう!

〇〇な感じを出したいから、ここは〇刀を使って彫ってみよう!



「やりたいこと」「表したいこと」見つかりましたか? 見つかったら「どう表すか」を考えてみましょう

